

こころん だより

Vol. **8**
2019 Spring



こころん



■ 特集1

外国人の人権について考える

文：高知地方法務局 人権擁護課 課長 今村 義弘氏

■ 特集2

こころんの社会見学
すべての子どもたちに絵本の喜びを
～「世界のバリアフリー児童図書展2017」より～

古川 佳代子氏 NPO法人 高知こどもの図書館 館長

外国人の 人権について考える

文：高知地方法務局 人権擁護課 課長 今村 義弘氏

外国人の人権問題って？

今日、我が国に入国する外国人は増加しており、平成29年には約2,743万人（再入国者を含む）※1で、過去最高となっています。こうした中、言語、宗教、文化、習慣などの違いから、外国人をめぐる様々な人権問題が発生しています。

例えば、外国人であることを理由にアパートへの入居や宿泊施設の利用を拒否されたり、特定の国籍等の外国人を排斥する趣旨の言動が公然とされるといういわゆるヘイトスピーチ事案などが発生しています。今後ますます進む国際化に向けて、文化や価値観の多様性を認め、外国人の生活習慣を理解・尊重し、偏見や差別をなくしていく必要があります。

※1 「人権の擁護」法務省人権擁護局（平成30年度版）より

外国人のための人権相談

法務省の人権擁護機関では、6言語に対応した「外国語人権相談ダイヤル」※2及び、2言語に対応した「外国語インターネット人権相談受付窓口」※3を設置しています。

また、全国の法務局・地方法務局においては、「外国人のための人権相談所」を開設し、日本語を自由に話せない外国人からの人権相談に応じているほか、外国人に対する偏見や差別の解消を目指し、啓発活動や調査救済活動に取り組んでいます。

※2

外国語人権相談ダイヤル（全国共通） Foreign-Language Human Rights Hotline

アパートへの入居を断られた、文化の違いが受け入れられないなどで悩んでいる方はお電話ください。
Don't struggle alone. Please call this number.

☎ **0570-090911**

■ 受付時間 Days and Hours

平日 午前9時から午後5時まで（年末年始を除く）
Weekdays 9:00 through 17:00
（Closed on public holidays and December 29th through January 3rd）

■ 対応できる言語 Languages

英語、中国語、韓国語、フィリピン語、ポルトガル語、ベトナム語
（2019年4月以降追加予定）ネパール語、スペイン語、インドネシア語、タイ語
English, Chinese, Korean, Filipino, Portuguese, Vietnamese
（Scheduled after April 2019）Nepali, Spanish, Indonesian, Thai

※3

外国語インターネット 人権相談受付窓口 Human rights counseling services in foreign languages

■ 英語版 English

https://www.jinken.go.jp/soudan/PC_AD/0101_en.html



■ 中国語版 Chinese

https://www.jinken.go.jp/soudan/PC_AD/0101_zh.html



ヘイトスピーチ解消法も施行

特定の民族や国籍の人々を排斥しようとする不当な差別的言動が、いわゆるヘイトスピーチであるとして社会的関心を集めていたことなどから、平成28年6月には「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）」が施行されました。こうした言動は、人々に不安感や嫌悪感を与えるだけでなく、人としての尊厳を傷つけたり、差別意識を生じさせたりすることになりかねないことから、決してあってはならないものです。そこで、法務省の人権擁護機関では、これまでの外国人の人権をテーマにした啓発に加え、こうしたヘイトスピーチをなくすための効果的でわかりやすい啓発・広報活動に取り組んでいます。

今後も取組を継続

2020年には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を迎えることもあり、外国人と接する機会は今後ますます増加することが予想されます。外国人の人権問題について、私たち一人ひとりが「他人事」と捉えず、「人権尊重の理念」について正しく理解することが大切です。

法務省の人権擁護機関では、外国人の人権問題を重要な人権課題の一つとして捉え、また前記法律の趣旨を十分に踏まえて、啓発活動及び人権相談などの施策の実施に取り組んでいます。また、外国人の人権問題を正しく理解していただくために、人権教室（研修）などの実施や、人権啓発用DVDの貸出しをするとともに、外国人の人権をはじめ、人権問題に関する相談窓口を設置しています。ぜひお気軽にお問い合わせください。

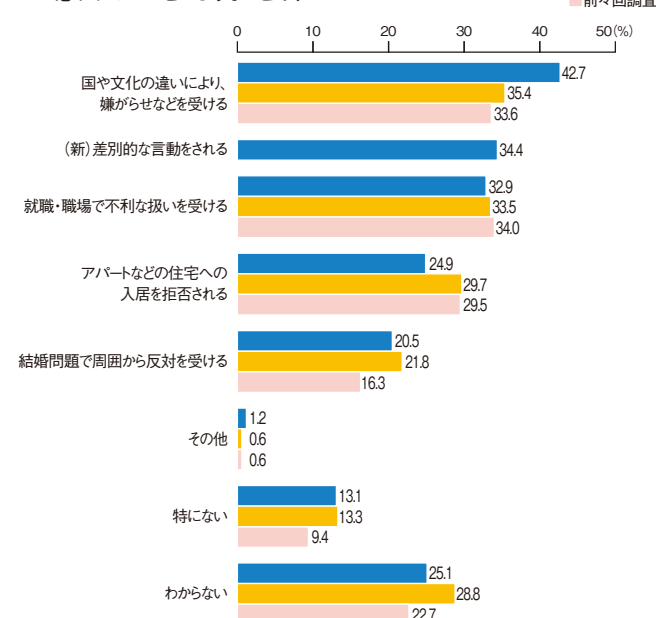
コラム

人権に関する県民意識調査

「人権に関する県民意識調査」は、県がこれからの人権施策を進めていくうえでの基礎資料とすることなどを目的に、県民の皆様の人権に対する意識について、5年ごとに実施しているものです。平成29年度の調査は、選挙人名簿から無作為抽出した県内在住の18歳以上の3,000人に調査票を郵送し、1,604票の有効回収（回収率53.5%）を得ることができました。次の回答結果は、身近な人権課題のうち外国人に関しての設問から抜粋したものです。（前回調査は平成24年度に、前々年度調査は平成14年度に実施）

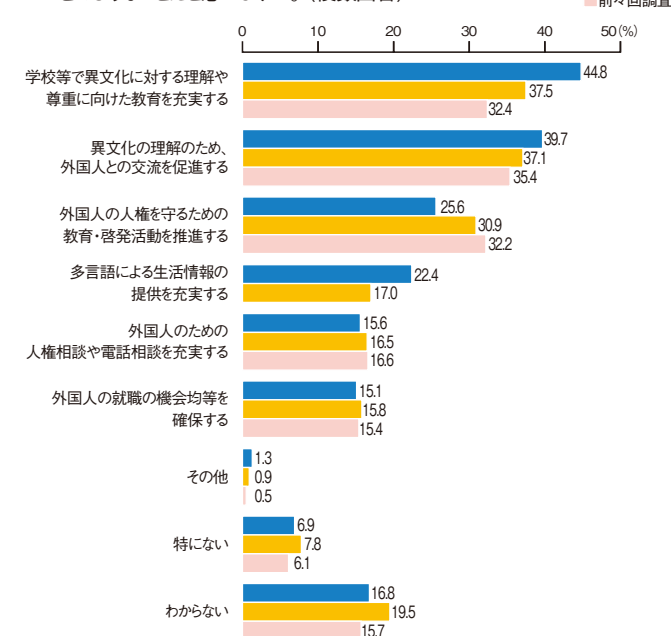
外国人に関する人権上の問題点

問. 日本に住む外国人に関する事柄で、人権上問題があると思われるのはどのようなことですか？



外国人の人権を守るために必要なこと

問. あなたは、外国人の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。（複数回答）



人権に関する県民意識調査についての
お問い合わせ先

高知県人権課 ☎ Tel: 088-823-9804 ✉ E-Mail: 141101@ken.pref.kochi.lg.jp

こころんの社会見学

すべての子どもたちに絵本の喜びを

～「世界のバリアフリー児童図書展2017」より～

国際児童図書評議会 (IBBY) 障害児図書資料センターが2年に一回、選書する世界各国の優れたバリアフリー児童図書の巡回展が、高知でも行われました。それを主催するNPO法人 高知こどもの図書館で、館長の古川佳代子さんにお話をお聞きました。



●お話ししてくれた人
NPO法人 高知こどもの図書館 館長
古川佳代子 さん

障害の有無を超えて楽しめる

バリアフリー児童図書には様々なものがあります。点字付きの本や、手話を写真やイラストで紹介する本、絵文字で書かれた本、触ったりパーツを動かせたりする本…どの本も特別なニーズを持つ人だけでなく、誰でも一緒に楽しむことができます。

また楽しむだけでなく、実際にそういった本を手にとってみることで、自分の知らなかったバリアに気づいたり、手助けできる工夫や必要な配慮を知ることができます。巡回展は、大切な気づきや啓発の機会になっていると感じています。



▲布絵本を制作する「ぐるーぶ・もこもこ」の作品もあわせて紹介されました



バリアフリー児童図書とは

バリアフリー児童図書とは、本を読んだり、見たり、理解したり、ページをめくる動作などにバリア (障害・障壁) がある子どもでも楽しめるよう、様々な工夫された本のこと。今年の巡回展では、世界21カ国のバリアフリー児童図書50作品が展示されました。実は、人権ふれあい支援事業としてご支援いただいていることもあり、日本の巡回展では高知が最も回数が多く、これが6回目。今回も多くの人々が訪れてくれました。



▲障害を特別なものとせず、同じ目線で理解し共感できる作品が多く展示されました

誰にも身近になるように

海外のバリアフリー児童図書をよく見ると、ISBNというバーコードがついています。これは世界共通の図書を特定する番号で、市販されている本の証。一方、日本ではバリアフリー児童図書の多くが善意の第三者によって作られており、図書館には置いてあっても流通はしていないため、「自分の本として手元に置きたい」「プレゼントしたい」と思っても、なかなか個人では手に入れることが困難です。

こうした現状を少しでも変えたいというのが、私たち高知こどもの図書館の願いの一つ。すべての子どもたちにとって、本が身近にある環境、本を楽しめる環境が実現するよう、これからも取り組んでいきたいと考えています。



こころんの

読んでみたよ、触ってみたよ

点字つき触る本
王様にご馳走を (オランダ)

ケーキのてっぺんを盗ったのは誰? 主人公のクモが、泥棒を探している動物に出会うお話です。



これはゴリラだね!
毛がふさふさしてるよ

レシピ絵本
マリアムのレバノン・ピザ (レバノン)

主人公マリアムが、料理の手順を教えてくれる本。最後のページで彼女がダウン症だとわかります。

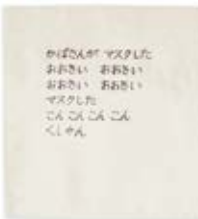


防水加工されてて、
台所でも大活躍だね

バリアフリー図書も
いっぱいあるよ!

布絵本
こんこんくしゃんのうた (日本)

遊び歌にあわせて、いろんな動物にマスクをつけてあげる本。指先を動かす練習にもなります。



びったりの
マスクを探すの、
おもしろ〜い!



高知こどもの図書館 住所: 〒780-0844 高知市永国寺町6-16
TEL: 088-820-8250

日本で初めて設立された、特定非営利活動法人運営の児童書専門図書館。赤ちゃん絵本から中高校生の読み物、児童書の研究書などの貸し出しをはじめ、企画展、ブックトークなど多彩な催しを行っている。
開館は週5日10:00～18:00 (休館は火・木曜日と年末年始)
※2020年春、旧県立図書館の建物に移転予定



平成30年度 人権ふれあい支援事業として、7団体に支援をしました

当センターでは、高知県内の、NPOやボランティア団体及び民間の団体 (PTA、町内会、老人クラブなど地域で活動している団体や企業、事業所を含む) などが人権に関する啓発や研修の事業を行う場合、その一部を支援しています。

じんけんコンサート

2018.10.28 (日)

三崎ふれあいじんけん祭
実行委員会
第30回三崎ふれあいじんけん祭
参加 約400名

ふれあい交流 あったかカレンダー 配布

2018.11.3 (土・祝)

戸波あったか教育推進会議
戸波ハート祭
参加 約280名

コンサートほか

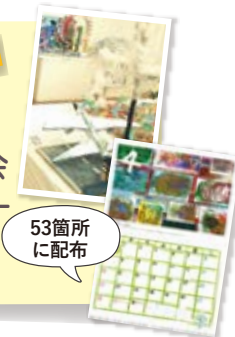
2018.11.4 (日)

大岐地区
人権教育推進協議会
第10回大岐じんけんふれあい収穫祭
参加 約250名

作品展示 カレンダー作成

2018.9～2019.1

(社福) すすめ福祉会
すすめ通所センター
障害福祉の啓発活動
～アートで繋ぐ心～



53箇所に配布

受け手研修会 広報啓発活動

2018.9～2019.2

チャイルドラインこうち
研修会と広報
啓発活動
参加 52名



ふれあい交流 (絵本展)

2019.2.9 (土) ～ 17 (日)

NPO法人高知こどもの図書館
世界のバリアフリー
児童図書展2017
参加 約400名



スポーツ組織連携事業

平成30年度スポーツ事業を開催しました

本事業では、「考えよう相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合うところ」「つながれ 広がれ やさしい心～子どもの人権110番～」の横断幕、「みんなで築こう人権の世紀」ののぼり旗を掲出し、「じんけん〇×クイズ」では楽しみながら人権について学びました。

選手からは、指導とともに相手を思いやる気持ちや感謝を大切にすることの大切さについてのスピーチもあり、一緒に人権について話し合いました。



＼平成30年度より開催！／

ボッチャ教室

パラリンピックの正式種目でもある障害者スポーツ「ボッチャ」を体験しました。指導は、リオデジャネイロ・パラリンピックでボッチャ日本代表チームを銀メダルに導いた村上光輝コーチです。正式な試合よりも狭いコートを使ったものの、力加減やコントロールが難しく、子どもたちは四苦八苦。「ゆっくりね」などと声を掛け合い、チームで考える大切さも学びました。

日時	参加者	場所
10月22日(月)	約20名	本山町立本山小学校
12月5日(水)	約130名	高知市立長浜小学校



協力：日本ボッチャ協会、高知県ボッチャ協会、本山町教育委員会、高知地方法務局人権擁護課、高知県人権擁護委員連合会、高知市人権同和・男女共同参画課



協力：高知ユナイテッドSC

野球教室

日時	参加者	場所
10月27日(土)	60名	高知球場
2月23日(土)	51名	越知町民会館



協力：高知ファイティングドッグス

アンケートより

- 障害者の方が3つの障害(物理的な障害・情報の障害・制度の障害)を乗り越えるために少しでもできることをしていこうと思った。
- 障害者でも楽しめるスポーツを知り、人権について知識が深まった。
- サッカーとじんけんと関係がある理由は、相手を思いやる気持ちと協力することの大切さというところが同じという事が分かりました。
- チームワークのことや人権のことをたくさん学びました。
- みんなで協力していき、チームで行動することの大切さを学びました。

第3回 ハートフルセミナー

『生きる』ことを支える ～「介護」ではなく「支援」を～ 和田行男さんによる講演会を開催しました

日時：2019年1月20日(日) / 参加者：110名 / 場所：高知県立人権啓発センター6階ホール

本県出身で介護福祉士の和田行男さん。2017年には、認知症の人が接客スタッフとして働く「注文をまちがえる料理店」を期間限定で東京に開店させ、国内外から大きな注目を集めました。介護の世界に新風を吹き込み続ける和田さんの、パワフルかつリアルな実体験に基づくお話に、参加者は福祉支援のあるべき姿について理解を深めました。



アンケートより

- 「認知症があるまえに人権がある」「目的のために手段が正当化される」など、心に残るフレーズがいくつもありました。
- 「支える」という事について考えさせられた。どのような人に対しても「人」として向き合うことの大切さを改めて教えられた。
- 介護の現場を経験されているからこそその支援のあり方を実直に話されて、とても印象深い講演となりました。人として生きることの大切さ、そして他の人たちに対しても人として生きていただくことの大切さを改めて感じることで、良い機会となりました。
- 「注文をまちがえる料理店」の動画では涙がでました。認知症の方に役割を持っていただくことの大切さを知りました。なにもかもしてあげるのではなく、出来ることをしてもらいたいと思いました。

第4回 ハートフルセミナー

映画「ドリーム」上映会を行いました

日時：2019年2月2日(土) / 参加者：120名 / 場所：高知県立人権啓発センター6階ホール

本作品は、アメリカの宇宙開発史に実在した“知られざるヒロインたち”に光をあてたヒューマン・ドラマです。3人の黒人女性が1960年代に色濃く残っていた人種差別などのハードルを乗り越え、NASAの有人宇宙飛行計画において多大な貢献を成し遂げていった姿を映し出しています。



アンケートより

- 人種差別の中に女性の人権が描かれていて、強くたくましい女性たちに感動しました。とても見ごたえのある映画でした。
- 女性の社会躍進の礎の人たちに心打たれた。勇気と元気をもらえる映画でした。先人に負けぬよう力強く生きていきたい。
- 目に見える形のあるものでなく、視線や空気といったものが一番大きい差別と感じた。偏見とはまさにそういうことだと思う。特別なことをするのではなく、皆が暮らしやすいことを突き詰めることが人権や差別をなくすことにつながると思う。

第5回 ハートフルセミナー

映画「私はワタシ～over the rainbow～」上映会を行いました

日時：2019年2月24日(日) / 参加者：142名 / 場所：高知県立人権啓発センター6階ホール

本作品は、ゲイ、レズビアン、トランスジェンダーなど多様な立場の人が、自分自身のこと、悩みや葛藤、社会の偏見や軋轢、愛などそれぞれの想いを語り、さらに、家族の声なども盛り込んだ“リアルな”ドキュメンタリー映画です。上映会にあわせて、本県出身でトランスジェンダー当事者として、性の多様性についての啓発活動を行っている大久保暁さんが、ご自身の学生時代のこと、マイノリティへの想いなどを率直に語ってください、上映会の内容をより深く感じ、考えるセミナーとなりました。



アンケートより

- 映画を見て少し考えが変わったように思う。もし自分の子がそうであった時のことを思うと、私は認めて援助していこうと思う。理解者になろうと思う。
- 大久保さんの話は心にひびきました。理解しているつもりだったけれど、まだまだできていない事がわかりました。
- 人は1つの命です。男とか女とか決めつけず、人間として人として接する世の中であってほしい…と思います。
- 人は誰でも、他人とは違う部分を持っているからこそ、お互いに手を伸ばして受け入れ合うことが大切だということを改めて考える機会となりました。大変理解が深まりました。
- 今日映画で観たことや講演でお聞きしたことを、自然にまわりの友人や家族などに話したり伝えていけるようにしたいと思います。

じんけんライブラリーをご存知ですか？

5F じんけんライブラリー

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。
ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の蔵書検索もできます。

利用方法

- ご利用の際は、「じんけんライブラリー」利用カードが必要です。
カード発行は無料、その場でお作りします。
- 直接ご来館できない場合は、送付もいたします。(送料は利用者のご負担となります)

	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	2本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内



団体図書貸出について

小・中学校、高等学校ほか、地域で読書普及活動を行う団体やグループに、様々な人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。

ホール、視聴覚室もご利用ください

6F ホール (収容人員 270人 机併用の場合は180人)

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

基本使用料(平日)			時間外使用料
午前	午後	全日	平日時間外、土・日・祝祭日
9:00～12:00	13:00～17:00	9:00～17:00	1時間
8,490円	11,360円	17,880円	4,250円

冷暖房使用料…1時間 / 610円 (1時間未満の時は、1時間として計算します)

- この表に定める時間区分には、実際に利用する時間のほか、その準備・片付けに要する時間を含みます。
- 時間外使用料は、利用時間が1時間未満でも1時間として計算します。

4F 視聴覚室 (利用無料 / 収容人員 48人)

視聴覚機器を利用する研修等にご利用ください。

※人権に関する研修等にのみ使用できます。

高知県立人権啓発センター(丸ノ内ビル4F～6F)



5F じんけんライブラリー



6F ホール



4F 視聴覚室

DVD 「じんけんライブラリー」外国人の人権に関するDVD紹介

✓ Pick Up!!

ウェルカム ～外国人の人権～
(気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ1) (16分)

企画: 東映(株)教育映像部

日本で暮らし働く外国人が増えています。外国人とともに働くには、多様性を尊重し、相手の文化を受け入れると同時に、私たち日本の文化や習慣も尊重してもらう必要があります。この作品は、企業の広報担当者を主人公に、異文化の壁をむしろ扉としてとらえ、開いていくことを描いた教材です。

✓ Pick Up!!

外国人と人権
～違いを認め、共に生きる～ (33分)

企画: 法務省人権擁護局 / (公財)人権教育啓発推進センター

外国人に関する人権問題をドラマや解説で分かりやすく啓発したDVDです。多様性を認めあい、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを一緒に考えます。外国人に対する偏見や差別をなくし、みんなが住みよい社会を築くために、私たちにどのようなことが問われているのかを学びます。

詳しくは
ホームページを
ご覧ください!



こころん

MAP



公益財団法人

高知県人権啓発センター <http://www.kochi-jinken.or.jp/>

〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階
TEL: 088-821-4681 / FAX: 088-821-4440 / E-Mail: center@kochi-jinken.or.jp

こころんだより Vol.8 2019年3月発行 (年4回発行)

制作・印刷: 有限会社ファクトリー 発行: 公益財団法人 高知県人権啓発センター